

# 早朝例会名古屋で広がり

米国発の世界最大の異業種交流会「BNI」が、早朝の名古屋を舞台に広がりを見せている。名古屋で活動する「コンダクトチャプター」のチャプタープレジデント（グループ代表）村瀬雄介氏は「（他の異業種交流会と違い）考え方が非常に合理的。各メンバーの人脈を使い、継続的な活動を行うことでビジネスに繋げることができる」と話す。（山田和幸）

## 世界最大の異業種交流会「BNI」



BNIは85年、米国の43の21、大野真徳社で生まれ、世界48カ国長、電話0422・7で14万人以上が参加。1・3161は06年日本拠点の「日本ビー」に設立し、全国で14・エヌ・アイ」（本社）51人が参加。名古屋東京都三鷹市下連雀3には08年に進出し、現在435人が参加している。

BNI定例会

参加者の大半は経営者や事業主。チャプターと呼ばれる20〜60人のグループに所属し、各専門分野から1人のみ入会。名古屋では13のチャプターが活動している。

## 入会は各専門分野1人 活動が売り上げ直結

主な活動内容は、週に1回、早朝に行われる各チャプターごとの定例会とメンバー個人のスキルアップセミナーが中心。

メンバーは「与える者は与えられる（ギバースゲイン）」の基本理念の下、他のメンバー紹介活動を展開。紹介成功件数や取引成立金額まで管理し、売上拡大を図る。

コンダクトチャプターは今年9月に発足後、2カ月間で257件のメンバー間紹介と1千万円以上の取引が生まれた。メンバーは「他の異業種交流会では名刺交換だけで終わることが多いがBNIは、売り上げに直結する」と語る。

日本ビー・エヌ・アイは12年末までに、会員数を2千人以上にすることを目指している。